

ABBF 全国実業団ボウリング連盟

第42回全国実業団支部対抗選手権大会 岩屋支部が最終G逆転で 初優勝



寺尾杯争奪第42回全国実業団支部対抗選手権大会は3月12日～13日、愛知・稲沢グランドボウルで112チーム560名が参加して開催され、岩屋支部が初優勝を飾りました。

大会は予選から好スコアが続く中、地

元・一宮支部が他を引き離す好スコアで、予選を首位通過しました。

一宮支部は3566点でハイシリーズも獲得。これは、平成20年に富士フィルムが記録した3534点を8年ぶりに更新する連盟新記録となりました。

予選2位も愛知の岩屋支部、3位には平成25年のチャンピオン札幌支部が続きました。

昨年度の優勝チーム・京都支部は5位で、首位に30点差をつられました。

決勝戦に入ると岩屋支部、京都支部が追い上げ、ギャラリーも手に汗握る熱戦に。岩屋支部は2G目で一宮支部に50点差まで接近。最終3G目には、得点が伸び悩む一宮支部を岩屋支部、京都支部、札幌支部が追い抜き、岩屋支部が初の頂点に立ちました。



▲支部対抗選手権表彰チームのみなさん。左から岩屋支部、京都支部A、札幌支部、一宮支部、鎌取支部A、新潟支部A、小田原支部、川崎支部B

SCHEDULE CALENDAR

APRIL ▶ MAY

各団体競技スケジュール・カレンダー

●ABBF	
4月 16日～17日	第32回北海道ブロック選手権大会（北海道・帯広スズランボウル）
	第42回関東ブロック選手権大会（東京・高尾スターレーン）
	第42回北信越ブロック選手権大会（新潟・ラウンドワンスタジアム新潟店）
17日	第42回関西ブロック選手権大会（京都・MKボウル上賀茂）

SCORE TABLE

ABBF

第13回森島杯広島ピースカップ

2016.1.30～31 広島ボウル

●3人チーム戦（3×9G）優勝坂出・名尾建設（名尾泰代・入口邦夫・田原義文）= 6,019 準優勝徳島メイク（小川恒・細川礼子・香川楓）= 6,017 第3位 広島・荒川技建B（中川岳史・北田英樹・宮本正美）= 5,998 第4位出雲・TOP DIE（林田崇三・立花正枝・林田尚恵）= 5,907 第5位下松・日新製鋼A（野上誠・関谷昌人・西村博）= 5,836 第6位広島・荒川技建A（川本義則・松田光弘・松本利晴）= 5,803 チームH/G荒川技建C（中村稔・井本道生・田中義一）= 771 チームH/S荒川技建C= 2,092（62チーム186

名参加）
●個人戦（3G）優勝松田光弘（広島・荒川技建）= 764 準優勝林田崇三（出雲・TOP DIE）= 743 第3位久保雅則（神戸・HDC）= 736 第4位木平弘実（下松・高山石油ガス）= 731 第5位前祐司（広島市役所）= 722 第6位中川岳史（広島・荒川技建）= 709 H/G広実一尚（下松・新成工業）= 308（75名参加）

寺尾杯争奪第42回全国実業団支部対抗選手権大会

2016.3.12～13 愛知・稲沢グランドボウル

●5人チーム戦（5×12G）優勝岩屋（菊地勇人・佐々木貴祥・鈴木貴広・河合鞠子・河合貞治）= 13,362 準優勝京都A（上手浩二・上手吉広・桂直樹・桂久美子・平岡修一）= 13,347 第3位札幌（大津欣也・矢原勝敏・戸島英喜・高橋美津枝・高橋浩一）= 13,338 第4位一宮（岡井勝彦・淵川満彦・亀山あきな・森隆・暖水徹）= 13,316 第5位鎌取A（木村石哉・吉野貴直・森澤夫

吉野裕二・中村充宏= 13,228 第6位新潟A（板垣博志・伊藤祐子・五十嵐彰・堀川正・広島孝）= 13,085 第7位小田原（勝亦仁・栗野賢一・宇都宮正樹・小泉大介・鈴木徹）= 12,984 第8位川崎B（佐藤陽介・柚之昭・西山純平・小田部一樹・和田成基）= 12,960 最優秀選手賞鈴木貴広（岩屋）= 2,975 H/G一宮= 1,263 H/S一宮= 3,566（112チーム560名参加）